

## 嚥下内視鏡検査に関する説明書

### 【摂食・嚥下障害とは】

摂食・嚥下障害とは、食べ物や飲み物が上手に飲めなくなる障害です。様々な原因で起こり、「脱水・栄養障害」「誤嚥・誤嚥性肺炎・窒息」などにつながる場合があります。

### 【目的】

食物が通過する“のど”の部分にどのような異常があるのか、その異常に対してどうしたらよいか必要な情報を得ることが検査の目的です。

### 【検査の実際】

鼻から内視鏡を入れてのどを観察します。実際に食べ物を食べてもらい、口からのど、食道へ食べ物がどのように通過するか、のどにどの程度残るか、などを直接観察します。

### 【偶発症について】

嚥下内視鏡検査には、十分な注意を払っても可能性がゼロにはならない、予測しえない不利益が発生することがあります。検査・治療は細心の注意を払って行いますが、万一偶発症が起こった場合は最善の方法で対処します。

- 1) 適切な食事を判断するためにやむを得ず患者さんにとって難しい食べ物（ごはん、水分など）や量を摂っていただくことがあります。その際、誤嚥を起こすことがあります。まれに誤嚥により、発熱や誤嚥性肺炎が起こることがあります。
- 2) 医療用潤滑ゼリーを使用します。極まれにアレルギー症状やショック状態（呼吸停止）が起こることがあります。
- 3) 内視鏡の通過により、鼻やのどが傷ついて出血することがあります。また、のどの奥まで達した内視鏡により喉頭や声帯に障害が生じることがあります。
- 4) 検査の緊張や刺激により、失神発作が起こることがあります。

検査に同意した後での撤回や、検査途中で具合が悪くなった場合には、いつでも検査を中止することが出来ます。

作成日：2021年4月12日

作成者：健和会大手町病院

消化器内科 佐竹真明

## 嚥下内視鏡検査同意書

ID \_\_\_\_\_ 様

今回行う検査は **嚥下内視鏡検査** です。

今回の検査について別紙の説明書にもとづいて説明を受け、その必要性や危険性などを十分理解した上で、検査の実施に同意いたします。

年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_

代理人氏名 \_\_\_\_\_ (続柄 \_\_\_\_\_)

作成日：2021年4月12日

## 嚥下造影検査に関する説明書

### 【摂食・嚥下障害とは】

摂食・嚥下障害とは、食べ物や飲み物が上手に飲めなくなる障害です。様々な原因で起こり、「脱水・栄養障害」「誤嚥・誤嚥性肺炎・窒息」などにつながる場合があります。

### 【目的】

食物が通過する“のど”の部分にどのような異常があるのか、その異常に対してどうしたらよいのか必要な情報を得ることが検査の目的です。車いすに支持なく座れる方が検査の対象です。

### 【検査の実際】

検査はレントゲン透視室で行います。バリウムを混ぜた食材を食べて、飲み込み機能の評価を行います。検査時間は30-60分程度です。

### 【合併症について】

検査は細心の注意を払って行いますが、万一合併症が起こった場合は最善の方法で対処します。

- 3) 実際に食べ物を飲み込んでいただくため、誤嚥を起こすことがあります。まれに誤嚥により、発熱や誤嚥性肺炎が起こることがあります。
- 2) 検査に使用する造影剤（バリウム）により、極まれに重篤なアレルギー症状（じんましん、気分不良）が発現することがあります。
- 3) 一時的に軽い便秘になる可能性があります。検査後、水分制限のない方はいつもより水分を多めにとってください。

検査に同意した後での撤回や、検査途中で具合が悪くなった場合には、いつでも検査を中止することができます。

作成日：2021年4月12日

作成者：健和会大手町病院

消化器内科 佐竹真明

## 嚥下造影検査同意書

ID \_\_\_\_\_ 様

今回行う検査は **嚥下造影検査** です。

今回の検査について別紙の説明書にもとづいて説明を受け、その必要性や危険性などを十分理解した上で、検査の実施に同意いたします。

年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_

代理人氏名 \_\_\_\_\_ (続柄 \_\_\_\_\_)